

平成26年8月6日

農作物生育・技術情報6号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JA平取町 JA門別町 JAとみかわ

1 水稻生育状況 中苗:ななつぼし

生育は平年より進んでおり、品種によっては開花が終わって「穂かがみ」が見られています。

出穂・開花後の登熟初期(出穂始～20日間)は、籾の中で子房が急速に大きくなるため、水分が必要になります。この時期に高温や土壤水分不足等すると収量・品質の低下に影響しますので、水田内の土壤水分や稲の登熟状況を観察し、生育に合わせた水管理を行ってください。

また、多湿条件ではいもち病が発生しやすく、高温少雨が続きとカメムシによる被害が多くなりますので、予察を十分行い徹底防除を行いましょう。

生育状況(8/1現在)			〈技術対策〉
項目	26年	平年	
草丈	90.1cm	88.0cm	●カメムシ防除対策 茎葉散布は「出穂期※」と「出穂期から7～10日後」の2回防除を実施する。 2回目の防除は水田のすくい取り(20回振り)で、捕獲頭数が2頭以上の場合に判断する。 ●いもち病防除対策 穂いもち防除は「出穂期※」に実施するが、出穂がバラツク場合は穂揃期※に再度防除する。(平年穂揃期 8/7) ※出穂期:全穂数の40～50%が出穂した時 穂揃期:全穂数の90%が出穂した時
葉数	10.7葉	10.9葉	
m ² 茎数	652本	538.2本	
止葉期	7/18	7/22	
出穂始	7/25	7/31	
出穂期	7/29	8/3	
遅速	+5	-	

2 主要野菜の生育状況

高温により樹勢が衰えやすい環境が続いています。かん水・追肥等が遅れないように管理を行い、生育の回復を図りましよう。

作物名	生育状況	技術対策
トマト 桃太郎8 桃太郎ギフト	<ul style="list-style-type: none"> 4月定植で、5～6段目収穫中。 5月定植で、3段目収穫中。 6月上旬定植で1段目収穫中。 葉かび病、灰色かび病、うどんこ病の発生が見られる。 ハウス出入り口付近や両サイドからのアザミウマ類やハダニ類の寄生が見られる。 萎ちょう病、半身萎ちょう病の発生が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 古葉や内側の葉の整理を行い、通気性を向上させ、病害が発生しにくい環境を作る。 薬剤散布は同一薬剤の連用を避け、異なる成分の交互利用により効果を高める。 降雨が少なく、害虫の増加が心配されるので、観察を行い防除が遅れないようにする。

作物名	生育状況	技術対策
きゅうり ちなつ オーシャン	<ul style="list-style-type: none"> 定植作業がほぼ順調に進み、定植後の活着も良好。 	<ul style="list-style-type: none"> 日中の温度が高くなりやすいため、定植直後は乾燥に注意する。 活着後も生育に応じたかん水を行い水分不足注意する。 アブラムシ、アシクロハモグリバエ等の発生に注意し、早期防除を行う。

作物名	生育状況	技術対策
ハウス軟白ねぎ 杓イトイト等	<ul style="list-style-type: none"> ・アサミウマ類、アシグロハモグリバエの食害が見られる。 ・葉枯病、葉先枯れが見られる。 ・農薬による薬斑が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウス内外の雑草除去、収穫残渣の処分を徹底する。 ・多発した時は散布量を多くする。 ・土壌を乾燥させないように、こまめなかん水を行う。 ・高温時は薬斑が生じやすくなるため散布時間に注意する。
アスパラガス（ハウス立茎） スーパーウェルカム	<ul style="list-style-type: none"> ・斑点病、灰色かび病、ヨトウムシ類の発生がある。 ・偏平茎、曲がりが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウス内外の雑草除去、収穫残渣の処分を徹底する。 ・土壌乾燥、高温に注意する。

* 日高管内でネギアザミウマに対する合成ピレスロイドの抵抗性が確認されました。この抵抗性は抵抗性の強いタイプⅣです。今後は合成ピレスロイド系薬剤の連用を避け、ローテーション防除を行いましょう。

3 畑 作

高温多湿気候が続く畑作物に病害虫が発生しやすい環境です。ほ場を良く観察し初発段階で発見、対策するように心がけましよう。

- てんさい 褐斑病、葉腐病等の発生が懸念されます。「てん菜技術情報」を参考に防除を行いましょう。
- ばれいしょ 今後は軟腐病発生への恐れがあります。塊茎腐敗による収量、品質に影響を及ぼしますので注意してください。
発生が確認された場合は、直ちに治療効果のある薬剤を選択しましよう。

表 ばれいしょ防除薬剤例

病害名	薬 剤 名	使用倍率	使用時期	使用回数	効果
疫病	ホイスントライフロアブル	1,000~2,500倍	収穫14日前	4回	予防治療
軟腐病	スターナ水和剤	1,000倍	収穫7日前	5回	治療

- 小豆 開花後に、菌核病・灰色かび病、子実肥大期にマキバカスミガメ等が発生しやすくなります。次の防除を行いましょう。

表 小豆防除薬剤例

病害虫名	薬 剤 名	使用倍率	防除時期	使用回数
灰色かび病	スミレックス(水)	1,000倍	開花始後7~10日目	2回
	フルピカフロアブル	2,000倍	1回目防除から10日後	5回
マキバカスミガメ アズキノメイガ	バイジット乳剤	1,000倍	8月上旬~中旬	4回

4 畜 産

●牧草生育状況（8月1日現在）

作物名	生育状況			遅速 日数	摘 要 (作業期節・特記事項)
	項目	26年	平 年		
牧草(苜蓿)	草丈(2番草)	46.1cm	60.4cm	-7	少雨により、生育が遅れています。

●サイレージ用とうもろこし生育状況（8月1日現在）

作物名	生育状況			生育期節	遅速 日数	備 考
	項目	25年	平 年			
サイレージ用とうもろこし	草丈	297.6cm	234.8cm	雄穂抽出85% 絹糸抽出75%	+8	高温により、生育が進んでいます。
	葉数	18.4枚	15.8枚			

※収穫適期が早まる可能性があります。登熟度合をこまめに確認しましよう。